

授業科目	＊助産診断・ケア学Ⅶ(助産過程演習)					実務家教員担当科目	○		
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	通年		
担当教員	前田 幸／杉浦 絹子／古賀 玉緒／山田 恵／新郷 朋香								
授業概要	助産過程の基本的原理を理解し、事例を用いて助産の実践に必要な助産過程の展開方法について学ぶ。 以上のことについて、実務家教員として臨床で助産師として実務経験を有する教員が教授する。								
授業形態	対面授業			授業方法	発表、ディスカッション				
学生が達成すべき行動目標									
標準的 レベル	1. 助産過程の基本的な考え方・プロセスについて必要な基礎的知識を修得している。(DP1－1) 2. 周産期各期における対象の経過を根拠に基づき論理的に思考・判断できる。(DP2－1) 3. 助産過程を通して周産期の助産ケア、また自己の課題について主体的に取り組む意欲をもっている。(DP3－1)								
理想的 レベル	標準レベル1～3を達成したうえで、 ・対象の情報から各期の助産診断を行い、対象の状態を統合して優先度を判断しケア計画を立案できる。 ・事例を通して助産過程の理解を深めることができる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合(数値)			備考			
試験									
小テスト									
レポート			70			0			
発表(口頭、プレゼンテーション)			20			0			
レポート外の提出物									
その他			10			他者が発表する時の姿勢、事例への取り組みの姿勢を評価します。			
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング									
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	MI21207J
学習課題(予習・復習)									1回の目安時間(時間)
助産診断と看護診断・医学診断との共通性と相違、助産診断の枠組み/構成、助産過程の展開について予習・復習を行う。									4
授業計画									
第1回	テーマ：助産診断とは、助産過程とは(杉浦絹子) ・助産診断と母性看護における看護診断・看護問題との共通性と相違、医学診断との共通性と相違、アセスメントの枠組み、助産過程の構成および展開について解説する。								
第2回	テーマ：妊娠期の助産診断・助産過程(前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香) ・助産過程の展開(妊娠期) 事例を配布し、記録用紙(妊娠期演習用)について説明する。								

	担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第3回	テーマ：妊娠期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（妊娠期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第4回	テーマ：妊娠期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（妊娠期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第5回	テーマ：妊娠期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（妊娠期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。 展開した助産過程を発表し、ディスカッションを行い共有する。また解説後に、個人指導を行う。 修正した助産過程を期日までに提出する。 産褥期・新生児期の事例を配布し、記録用紙(産褥期・新生児期演習用)について説明する。
第6回	テーマ：産褥期・新生児期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（産褥期・新生児期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第7回	テーマ：産褥期・新生児期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（産褥期・新生児期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第8回	テーマ：産褥期・新生児期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（産褥期・新生児期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第9回	テーマ：産褥期・新生児期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（産褥期・新生児期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第10回	テーマ：産褥期・新生児期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（産褥期・新生児期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。 展開した助産過程を発表し、ディスカッションを行い共有する。また解説後に、個人指導を行う。 修正した助産過程を期日までに提出する。

	分娩期の事例を配布し、記録用紙(分娩期演習用)について説明する。
第 11 回	テーマ：分娩期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（分娩期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第 12 回	テーマ：分娩期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（分娩期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第 13 回	テーマ：分娩期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（分娩期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第 14 回	テーマ：分娩期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（分娩期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。
第 15 回	テーマ：分娩期の助産診断・助産過程（前田幸・古賀玉緒・山田恵・新郷朋香） ・助産過程の展開（分娩期） 担当教員のもと個人ワーク(情報の分類・アセスメント・統合アセスメント・助産診断・目標設定・計画立案)を行う。 展開した助産過程を発表し、ディスカッションを行い共有する。また解説後に、個人指導を行う。 修正した助産過程を期日までに提出する。
テキスト	ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版 太田操編 医歯薬出版株式会社 ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程 第4版 太田操編 医歯薬出版株式会社 NANDA-I 看護診断分類 定義と分類 2024-2026 上鶴重美訳 医学書院 看護がみえる④ 看護過程の展開 永田明他監修 MEDIC MEDIA ウェルネスからみた母性看護過程 佐世正勝他編 医学書院 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023 発行：日本産婦人科学会 編集・監修：日本産婦人科学会/日本産婦人科医会 その他、看護学生の時に使用した教科書や参考書も活用してください。
参考図書・教材／データ	担当教員とのやり取りの中で、適宜フィードバックをします。 発表・共有の時間には、全体へのフィードバックを行います。

ベース・雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	看護診断の基礎知識、アセスメント能力を必要とします。実習での事例の展開に向けて積極的に取り組んでください。 既習の母性看護過程を復習し、助産過程との違いを理解し授業に臨みましょう。 事例を展開するために診断に関する科目をしっかりと理解・復習しておいてください。また、実習に備えられるよう予習・復習をしましょう 事例の展開については担当教員のもとで実施します。担当教員については授業中に説明します。
学生へのメッセージ・コメント	